

公益社団法人 日本地震工学会 第12回理事会議事録

A. 日 時：2014年10月22日（水）17時00分から20時00分

B. 場 所：専売ビル 8F 第1会議室（東京都港区芝5-26-30）

C. 出席者：（会 長） 安田 進

（副 会 長） 志波由紀夫，山崎文雄，福和伸夫

（担当理事） 新海 元，副島紀代，和泉信之，佐藤正行，藤川 智，藤原広行，
年縄 巧，小檜山雅之，久田嘉章，境 茂樹，澤田純男，塚本良道

（監 事） 五十嵐克哉，小林信之

（欠 席） 横井俊明，古屋 治，鳥井信吾，片岡正次郎

オブザーバー出席：吹野美絵事務局長

D. 提出資料

資料 12-01 第11回理事会議事録（案）（副島理事）

資料 12-02 会務報告（新海理事）

資料 12-03-1 会計報告（収支予算管理月報）（佐藤理事）

資料 12-03-2 会計報告（調査研究委員会予算執行状況）（佐藤理事）

資料 12-05-1 入退会者（藤川理事）

資料 12-05-2 法人会員の勧誘について（藤川理事）

資料 12-06 共催・後援・協賛等（副島理事）

資料 12-07 「論文投稿システム」の導入について（年縄理事）

資料 12-08 JAEE ウェブサイトの会員システムの暗号化（小檜山理事）

資料 12-09 第14回日本地震工学シンポジウム報告（塚本理事）

資料 12-11 地震災害対応マニュアル・規程（志波副会長）

資料 12-14 2014年度「監事候補」選挙の公示案内（藤川理事）

資料 12-15-1 日本学術会議協力学術団体申込書類（副島理事）

資料 12-15-2 第3回日本地震学会・日本地震工学会会長懇談会議事録（副島理事）

資料 12-16 会誌編集委員会報告（久田理事）

資料 12-17 論文編集委員会報告（年縄理事）

資料 12-18-1 情報コミュニケーション委員会報告（小檜山理事）

資料 12-18-2 Web 問い合わせフォームの変更について（小檜山理事）

資料 12-19-1 第5回震災予防講演会 企画案（境理事）

資料 12-19-2 第19回「震災対策技術展」横浜について（安田会長）

資料 12-20 地震工学会画像検索システムについて（安田会長・年縄理事・久田理事）

資料 12-21 今後のスケジュールについて（新海理事・副島理事）

E. 議題

E 1. 報告事項

1) 第 11 回理事会議事録（案）確認（副島理事，資料 12-01）

副島理事より資料 12-01 を用いて「第 11 回理事会議事録（案）」について説明があり，本内容にて了承された。

2) 会務報告（新海理事，資料 12-02）

新海理事より，資料 12-02 を用いて，9 月 18 日～10 月 22 日までの会務報告がなされた。

3) 会計報告（佐藤理事，資料 12-03-1～2）

佐藤理事より，資料 12-03-1 および資料 12-03-2 を用いて，今年度 9 月末日までの予算執行状況が報告された。また，上期の執行状況を鑑み，下期支出額について当初予算比 5%減を目標とすることと，それぞれの担当する事業について下期の見込み額を今月末までに会計担当理事に報告することが確認された。

4) 業務執行理事業務報告（会長，副会長）

会長，副会長より 4 月～9 月（志波副会長においては 6 月～9 月）の業務について，理事会規則第 26 条および第 27 条職務権限規程に基づいて業務を適正に執行している旨が報告された。

「定款第 22 条 4 会長，副会長及び専務理事は，每事業年度に 4 箇月を超える間隔で年に 2 回以上，自己の職務の執行の状況を，理事会に報告しなければならない。」

上記定款による，平成 26 年 4 月 1 日から平成 26 年 9 月末日における，職務執行状況の報告を以下に受けた。

安田進会長：

業務執行理事の職務権限規程第 4 条における職務執行を行ったので報告する。

志波由紀夫副会長：

業務執行理事の職務権限規程第 5 条における職務執行を行ったので報告する。

山崎文雄副会長：

業務執行理事の職務権限規程第 5 条における職務執行を行ったので報告する。

福和伸夫副会長：

業務執行理事の職務権限規程第 5 条における職務執行を行ったので報告する。

以上の報告を受け了承された。

E 2. 議案

第 1 号 入退会者（藤川理事，資料 12-05-1～2）

藤川理事より，資料 12-05-1 により「入退会者」の報告がされ，2014 年 10 月 22 日現在，新規入会者は正会員 1 名，退会者は正会員 1 名，学生会員 2 名が承認された。

以上の結果，個人会員数は，名誉会員 28 名，正会員 1,124 名，学生会員 111 名で，総数は個

人会 1,263 名，法人会員 104 社となることが確認された。

また，資料 12-05-2 により法人会員の勧誘方針が示された。今後会員担当理事を中心に，各理事が協力して勧誘の声掛けを実施していくことが確認された。

第 2 号 共催・後援・協賛等（副島理事，資料 12-06）

副島理事より，資料 12-06 により，以下に示す後援(1 件)，協賛 (3 件) の報告があり，承認された。

- ・後援依頼：「震災対策技術展」横浜 - 自然災害対策技術展 -
(2015 年 2 月 5 日～6 日開催，主催：「震災対策技術展」横浜 実行委員会)
- ・協賛依頼：日本地球惑星科学連合 2015 年大会
(2015 年 5 月 24 日～28 日開催，主催：日本地球惑星科学連合)
- ・協賛依頼：計算力学技術者 2 級（振動分野の有限要素法解析技術者）認定試験対策講習会
(2014 年 11 月 1 日(東京)・11 月 8 日(大阪)開催，主催：日本機械学会)
- ・協賛依頼：安全工学シンポジウム 2015
(2015 年 7 月 2 日～3 日開催，主催：日本学術会議 総合工学委員会)

第 3 号 「論文投稿システム」の導入について（年縄理事，資料 12-07）

年縄理事より資料 12-07 を用いて論文投稿システムの導入について説明があり，承認された。なお，年次大会の原稿を当投稿システムで扱うかどうかは次回までに確認することとなった。

第 4 号 JAEE ウェブサイトの会員システムの暗号化について（小檜山理事，資料 12-08）

小檜山理事より資料 12-08 を用いて JAEE ウェブサイトの会員システムの暗号化について説明がされ，暗号化作業を実施することが承認された。

E 3. 懇談事項

6) 第 14 回日本地震工学シンポジウムについての報告（塚本理事，資料 12-09）

塚本理事より資料 12-09 を用いて，本年 12 月 4 日～6 日に開催予定の第 14 回日本地震工学シンポジウムのプログラムや論文特集号のスケジュール，収支見通し等について説明があった。

7) 兵庫県南部地震 20 周年シンポジウムについての報告（境理事）

境理事より来年 1 月 24 日に日本地震学会・日本活断層学会と合同で開催予定の兵庫県南部地震 20 周年シンポジウム「地震被害の軽減に向けた研究者たちのメッセージ -阪神・淡路大震災 20 年：地震関連科学の到達点と新たな決意」のその後の進捗状況について説明があった。

8) 地震災害対応委員会からの報告（志波副会長，資料 12-11）

志波副会長より資料 12-11 を用いて，地震災害対応委員会で修正を検討中の「地震発生時の対応マニュアル」および地震災害対応活動に関する規程について説明がなされた。

9) 将来構想委員会からの報告（志波副会長）

志波副会長より、前回の理事会で報告があった若手中心の座談会の企画について、12/12（金）に実施予定との報告があった。座談会の出席者となる若手会員について、適任と思われる方があれば各理事から幹事の藤原理事に紹介することが確認された。

10) 事業企画委員会からの報告（境理事）

境理事より、事業企画委員会の活動状況について説明があった。

11) 選挙管理委員会からの報告（藤川理事、資料 12-14）

藤川理事より、資料 12-14 を用いて、監事候補選挙の公示案内（11 月 1 日公示予定）について説明があった。

12) 総務部会からの報告（副島理事、資料 12-15-1～2）

副島理事より、資料 12-15-1 を用いて、日本学術会議協力学術団体への申込について説明があり、今後手続きを進めることが確認された。また、資料 12-15-2 を用いて、10 月 8 日に行われた日本地震学会との会長懇談会の報告があった。

→後日、吹野事務局長に申込手続きをしていただいたところ、既に協力学術団体として加入済みであったことが判明（2007 年に任意団体の日本地震工学会として登録され、その後 2010 年に一般社団法人として変更届提出）。会長が変わるごとに変更届の提出が必要とのことで、今後は忘れず手続きを行うようにする。

13) 会誌編集委員会からの報告（久田理事、資料 12-16）

久田理事より資料 12-16 を用いて、会誌編集委員会の活動状況が報告された。

14) 論文集編集委員会からの報告（年縄理事、資料 12-17）

年縄理事より資料 12-17 を用いて、論文集編集委員会の活動状況および論文集特集号（津波特集号、JEES 特集号）の進捗状況について報告があった。また、避難研究委員会から出された津波特集号における研究活動報告の論文投稿料減免の相談事項について議論がなされたが、研究活動成果を広く公表するには、論文集でなくても HP への掲載や報告会での資料頒布などいろいろな手段があるので、論文集のコンテンツとして投稿する以上は他の論文と同じルールに従っていただくこと（減免は認めない）ことが確認された。

15) 情報コミュニケーション委員会からの報告（小檜山理事、資料 12-18）

小檜山理事より資料 12-18 を用いて、情報コミュニケーション委員会の活動状況について報告があった。また、Web サイトの問い合わせフォームの改善について説明があった。

16) 「震災対策技術展」について（境理事・安田会長、資料 12-19-1～2）

境理事より資料 12-19-1 を用いて、2015 年 2 月に横浜で開催される「第 19 回震災対策技術展」における「第 5 回震災予防講演会」の企画について、説明があった。また安田会長より資料 12-19-2 を用いて、当該震災対策技術展の実行委員会の活動状況について報告があった。

17) 地震工学会画像検索システムについて（安田会長・年縄理事・久田理事，資料 12-20）

久田理事より資料 12-20 を用いて、JST からの画像検索システムへのコンテンツ提供および利用の協力依頼について説明があり、基本的な方針について了承された。

18) 今後のスケジュールについて（新海理事・副島理事，資料 12-21）

新海理事より資料 12-21 を用いて、2015 年度に向けた今後の理事会運営のスケジュールについて説明があった。

次回予定：日時：平成 26 年 12 月 10 日(水) 17:00～20:00

場所：専売ビル 8F 第 1 会議室

記録担当：総務理事 副島 紀代